

くつろぎ通信 4月号

久保みずきレディースクリニック 泉レディースクリニック

No.52 H25.4.1発刊

ひなた 助産院

久保みずき女性・検診クリニック

春を待つ桜について

みなさん、いよいよ春ですね。あんなに寒くて、凍えてて一体どうなっているんだと思っていました。やはり春はやってきてくれました。今年の春を迎えるにあたり、2月14日のバレンタインデーに当院開院13年目の記念として、また、開院以来、不妊治療を受けられた患者様で、妊娠された方が2000名を超えた記念として、そして、当院の名称を菅原記念診療所に変更させていただいた記念として、3本のソメイヨシノの小さな苗木を植えさせて頂きました。クリニックのバス停側の斜面です。お時間があれば見てくださいます。年毎に、この3本の桜が、少しずつ根を張って行って、小さくてもいいから、かわいい花を咲かせてくれて、春を告げてくれれば幸いです。

春を待つ桜さん達、頑張ってくださいね。毛虫が来たら、おじさんがやっつけてあげますから。

「菅原先生の笑顔が桜の花とともに、毎年クリニックに帰ってきてくれること祈念します。」

Dr. ヒロのひとり言



母になるといろいろと・・・

昨年2月に結婚した娘のお腹に新しい生命が宿り、この4月の出産に備え、ここ久保みずきレディースクリニックでお世話になっていきます。

出産予定の娘が誕生したのは28年前で、当時を思い出すと時のたつ早さを感じみじみと感じます。娘がまだ生後5か月で川崎病に罹り、私も娘の看病のために病院に泊まり込んだことがありました。小さな足には点滴の注射針が刺され、高熱と皮膚の炎症で不愉快だったのでしょうか、か弱く泣く姿を見ていると今でも胸が締め付けられる思いです。そんな時に私の母がときどき私に代わって看病してくれ、心の支えとなっておりました。その後、娘が幸いにも後遺症もなくここまで健康に育ってくれたことを、神様と母に感謝しております。

私も今、その時の母の立場になり、孫を溺愛しすぎない程度に、娘の子育てを応援してやりたいと思っております。

アメニティ 宮森ひとみ



『私の手』

手のきれいなひとが好きです。／きれいな手でも つるぴかの意味ではなく・・・／所作のきれいな、よく働く手であるということ。でも、／所作がよくても 何の手入れもしないくたびれた手は／わたしのきれいな所を意味しないのである。／そういつている私の手。はずかしくてポケットに手を入れることもしばしば。／きれいな手が好きな私の手がきれいでないのは・・・／使い放題使っておりがとうも言わずに、クリームもすりこんでやらさずだからだ。／これはいけないという香りのするハンドクリームを手にする。／アツまてよ。今から私は料理をするのだよ。困るよ。／以前読んだな・・・オリブオイルだ。オリブオイルをつけてみた。なんだか、しわしわよれよれかさかさの手が少しだけ女っぷりをあげたような。／目の前にあるゴマ油もいいかもしれないな。／ポケットに入れなくてもいい手になりますように。

キッチン 北野洋子



育児サークル「笑母〜EKUBO〜」開設

日ごとに暖かさが増し、外出が楽しい季節になってきましたね。病児保育室くれよんでは、今年に入りインフルエンザにかかり利用されるお子様が多くいらっしゃいました。ようやくその波も落ち着き、子供たちが元気に保育園や幼稚園に通えるようになった事を思うと嬉しく思います。

さて、久保みずきレディースクリニクに育児サークル「笑母〜EKUBO〜」が新たに開設されました。子育て期は毎日が新しい発見の連続ですね。お子様のしぐさや行動に一喜一憂の日々だと思います。可愛い我が子だからこそ、母親となつての不安や悩みが増えたのではないのでしょうか。そんな時は、「笑母」に遊びに来てください。親子遊びや、お母様同士の交流、情報交換などしてみませんか。お子様だけでなくお母様自身が、心から楽しめるような空間を作つて頂きたいと思い、あえて対象年齢を3か月からとさせて頂きました。子育てに関する不安やちょっとした悩み、時にはダンナ様のグチ(笑)など、みなでおしゃべりして笑い話にしませんか。大好きなお母さんが笑顔になるともちろんお子様も笑顔になります。「笑母〜EKUBO〜」を通してより育児が楽しいと感じて頂けたらと願っております。



お問い合わせ&予約

TEL078-961-3348(病児保育室くれよん)

Email crayon@kubomi.zuki.or.jp

詳細はホームページをご覧ください。

女性・検診クリニック

4ヶ月目を迎えて・・・



早いもので、1月に開院を迎え、4ヶ月目となりました。まだまだ、肌寒い日も多いですが、少しずつ春らしさを感じられるようになってきました。

皆様、いかがお過ごしですか?今回、久保みずきグループの中で、初めて採用された診療放射線技師の山口、浅田です。昨年の秋ごろに、検診クリニックのオープンのお話を頂きました。(正直、2人の技師の採用があるとは思っていなかったのですが・・・)こちらに來させて頂くまでは、十数年総合病院で働いていました。その頃は、もつと早く病気に気付かなかつたのか。もう少し早く来院されていれば、と思うこともよくありました。今度は、まず病気を見つける側になり、緊張の日々です・・・。

と、余談ですが、以前の職場では、男性技師の多い中で、自分たちが女性であることを特に意識することもなく、どちらかというと、おっさん!?!的な技師であつたので、こちらに

來てからは、言葉遣いなどに気をつけるようにしていますが、なかなか慣れません(苦笑)。幸い、女性・検診クリニックは、沢岬先生をはじめ、スタッフの方々が、同年代ということもあり、ホッとしています。

検診という分野は、初めてで不慣れなことばかりですが、久保理事長をはじめ、多くの方々のおかげで、なんとかオープンを迎えることができました。

本当に、開院前から装置の選定など、様々な準備に携われたことは、大変でしたが、本当に楽しくて、すごくやりがいがある日々を過ごすことができました。また、オープンを迎えてからは、予想していた以上の方々が検診に來られている現状をありがたく思っています。

何かとご迷惑をおかけすると思いますが、温かいご指導のほどよろしく願います。

女性・検診クリニック 山口恵美子

浅田 安子



泉レディースクリニック

早いもので、泉レディースクリニックは4月で開院から丸3年を迎えます。

保険診療を始め、神戸市の子宮がん検診、子宮頸がんワクチン接種やプラセンタの治療と、診療内容は多岐に渡り、とても忙しい日々ですが、松尾先生を筆頭に、みんなで一丸となって協力し合い、頑張っています。

スタッフ一同、患者さんが「泉レディースクリニックを選んでよかった。」と納得・満足して帰っていただけるよう、勉強会で知識の向上を目指したり、患者さんの立場に立つて物事を考え、きめ細かな対応ができるよう、接遇の面でも努力しております。

おかげさまで、たくさんのお患者さんに来院して頂いていますが、その分、待ち時間が長くなってしまっているという現状があります。

今後の課題としては、少しでも待ち時間が短くなるよう何かできることはないか検討して行きたいと思っています。

どうぞこれからもよろしく願っています。

泉レディースクリニック 加古節子

幸林宏美



何回目のハイジ?

久保みずきに入職して。。

去年から「アルプスの少女ハイジ」の再放送が始まりました。今回はデジタル放送なので画像も綺麗で、幸運なことに1話から見る事ができました。ハイジが小さいころから数えきれないくらい見ました。子供たちが生まれてからも再放送と一緒に見ようと思いました。子供たちが夢中になるほどではありませんでした。ところが今回、子供たちも大きくなって理解できるようになり、特に3番目のK太郎がハイジ好きになってくれました。

私自身ハイジには大変影響を受け、アルムの山のお花畑に憧れ、山に登ったりしました。北海道の牧場で働かせてもらったこともありました。ハイジを小さいころに見ていたことで、大自然へのあこがれが強くなったのだと思います。K太郎はペーターが寝転んでヤギの乳を搾りながら飲むのをまねしたかったようで、牛乳パックを手に持って口を大きく上に開いて牛乳の淹飲みをしていました。(ちよつとワイルド過ぎですが・・・)放送はまだ半年続くので、K太郎もハイジを見て自然が大好きな子に育ってほしいです。

薬局 奥田佐千子



私が久保みずきレディースクリニックに入職してから、約半年が経ちました。当時はまだ蝉の鳴き声がする真夏でしたが、今はもう桜の咲く季節となり、月日の経つ早さを感じています。

私は入職前、友人の出産の際に久保みずきレディースクリニックを訪れたことがありました。その時の綺麗で明るく柔らかなクリニックの雰囲気や、スタッフの方々の気配りのある真摯な対応に心を惹かれ、そのことが入職のきっかけとなりました。

実際にスタッフとして仕事を始めると、たくさんの方々のスタッフが素晴らしいチームワークで職務に励み、それが患者様の笑顔に繋がっているということを実感しました。様々な職種の方がいらつしやいますが、スタッフみんな一つになつてクリニックを支えていることも実感し、そんな皆様の姿にとっても心をうたれました。

受付の仕事では、毎日新しい発見があり、様々なことを吸収させて頂いています。まだまだ分からないことにはぶつかることもありますが、それと同時にやりがいや楽しさも感じられるようになってきました。まだまだ未熟ではありますが、日々学び、どんどん成長して、患者様の笑顔に繋がっていきたくて頑張っています。

受付 大西恵



来年は咲いてくれるかな？

2月にクリニックに植えた桜の木が少し大きくなりました。花は咲かなかったけれども、葉っぱがたくさん出てきました。しっかりと根付いて、来年には花をつけてくれるといいですね。

平成25年2月14日撮影



久保みずきレディースクリニック
菅原記念診療所 設立記念植樹
不妊治療2000人 妊娠達成記念植樹
平成25年2月14日

平成25年3月29日撮影

まっかなりんご



3月31日に神戸で開催された『日本レーザーリプロダクション学会』に参加してきました。レーザーとは光を増幅して反射したもので、エネルギーが高く様々な分野に利用されています。当院でも『補助孵化療法』という赤ちゃんになる細胞が透明体と呼ばれる殻から脱出するのを手助けする治療に使用しています。

さて、リンゴはなぜ赤いのか？みなさんは知っていますか？物体に光が当たったときに、物体は特定の色の光を吸収し、それ以外の光を反射します。そう、私たちが見ているのは、吸収されなかった光、すなわち反射されている光の色なのです。リンゴではそれが赤く見えるのです。

不妊治療に関しても、吸収された光のように見えていない事、わからない事のほうが多いです。だからこそ、受精卵を扱うときも、ほんの少しのことにも気を配り、常にベストな状態にする努力が必要です。見えないものを見るようにできませんが、少しでも多くの患者様のご希望に応えるいい治療方法が見つければうれしいです。皆様も何か良いアイデア、実際に試してみたこと等ございましたら是非教えてください。そこから、また新しい何かが生まれるかもしれません。

『春植えざれば秋実らず』

胚培養士 堀部晃央

他己紹介

今回は、保育士の

なかつかまさこ
中司真佐子さんです。



第一位・・・明るく、よく笑う

いつも明るく元気いっぱいです。いつも全力で子供たちと遊んでくれ、周りにいる子供たちだけでなく一緒に働くスタッフまで楽しい雰囲気させてくれます。また、みんなのお母さんみたくとっても温かい方です。

第二位・・・よく食べる

食えることが大好きで、おいしいレストランや、珍しい食材まで詳しいです。あまーいお酒も大好きです。たくさん飲んでたくさん食べます。そしてたくさん笑います。

第三位・・・ほめるのが上手

子供たちから大人気の中司さん。褒めるのも上手で、子供たちは褒められてとっても嬉しそうです。

みんなの知らない中司さん

見かけとは違い繊細で、心配性。人見知りもするみたいです。

中司さんへメッセージ

いつまでも明るく元気な中司さんでいてください。

